

信州大学医学部附属病院 血液内科および小児科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
臨床検査部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023 年 6 月 26 日

「*BCR::ABL1* チロシンキナーゼ領域の薬剤耐性変異検出法の改良」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

|             |                                                                                                         |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 倫理審査承認番号    | 5876                                                                                                    |
| 研究課題名       | <i>BCR::ABL1</i> チロシンキナーゼ領域の薬剤耐性変異検出法の改良                                                                |
| 所属(診療科等)    | 臨床検査部                                                                                                   |
| 研究責任者(職名)   | 鈴木晴媛                                                                                                    |
| 研究実施期間      | 医学部長による許可日～2028年3月31日                                                                                   |
| 研究の意義、目的    | 慢性骨髄性白血病および急性リンパ性白血病における <i>BCR::ABL</i> 遺伝子変異の検査方法をより効率的に改良することを目的とした研究で、将来的に速やかで適切な治療法選択に貢献すると考えられます。 |
| 対象となる方      | 2014 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日の期間に当院 血液内科および小児科で慢性骨髄性白血病または急性リンパ性白血病について診療を受けられた方                     |
| 利用する診療記録／検体 | 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／保存 RNA                                                                            |
| 研究方法        | 過去の診療記録より上記の内容を収集したうえで、新規の解析方法 (SNaPshot 法) を応用し、これまでの方法 (ダイレクトシーケンス法) を比較した際の有用性評価を行います。               |
| 共同研究機関名     | 本研究は、信州大学のみで実施されます。                                                                                     |
| 問い合わせ先      | 氏名(所属・職名): 鈴木晴媛(臨床検査部・臨床検査技師)<br>電話: 080-3437-0884                                                      |

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。